



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 前澤工業株式会社

コード番号 6489 URL <http://www.maezawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部長 兼経営企画室部長 (氏名) 神田 礼司

TEL 048-251-5511

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	3,275	5.3	△813	—	△802	—	△796	—
26年5月期第1四半期	3,110	13.9	△751	—	△756	—	△735	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 △749百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △771百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年5月期第1四半期	△43.43	—
26年5月期第1四半期	△40.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	29,739	14,279	14,279	14,279	48.0
26年5月期	32,132	15,184	15,184	15,184	47.3

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 14,279百万円 26年5月期 15,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
26年5月期	—	3.00	—	3.00	6.00	6.00
27年5月期	—	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	8,500	2.8	△1,550	—	△1,570	—	△1,580	—	△86.17
通期	30,800	13.4	950	34.5	890	35.7	720	48.5	39.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	21,425,548 株	26年5月期	21,425,548 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	3,090,942 株	26年5月期	3,090,745 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	18,334,653 株	26年5月期1Q	18,335,822 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しており、平成26年10月8日付で四半期レビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は持ち直しの動きが続いているなかでこのところ足踏みがみられ、企業収益も改善に足踏みがみられるなど、一部に弱さがみられるものの、雇用情勢は着実に改善しているなど、景気は緩やかな回復基調が続いていると思われまます。一方で、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、引き続きわが国の景気を下押しするリスクもあり、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資は総じて堅調に推移しているものの、公共投資関係費の削減およびコスト縮減が行われたことによる企業間競争の激化により、非常に厳しい環境が続きました。

このような状況のもとで当社グループは、成長企業への転換を図るため、上・下水道市場や環境関連分野の民間市場に対し、ユーザーニーズを的確に捉え、企業集団の連携を強化することにより販売力の強化を推進し、販売活動を展開してまいりました。その結果、受注高は8,158百万円（前年同期比31.2%増）、売上高は3,275百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

損益につきましては、トータルコストダウンの更なる追求や生産効率の大幅な向上をめざし、低原価体質を基調とした強固な企業体質の構築を推し進めるべく諸施策を実施した結果、経常損失は802百万円（前年同期756百万円の損失）、四半期純損失は796百万円（前年同期735百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上および利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①環境事業

環境事業については、公共投資関係費の削減等による企業間競争の激化により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高3,919百万円（前年同期比81.0%増）、売上高1,418百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント損失391百万円（前年同期371百万円の損失）となりました。

②パルプ事業

パルプ事業については、公共投資関係費の削減等による企業間競争の激化により、引き続き厳しい事業環境が続くなか、受注高1,905百万円（前年同期比27.4%減）、売上高1,220百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント損失248百万円（前年同期139百万円の損失）となりました。

③メンテナンス事業

メンテナンス事業については、公共投資関係費の削減等による企業間競争の激化により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高2,332百万円（前年同期比63.2%増）、売上高636百万円（前年同期比151.1%増）、セグメント損失172百万円（前年同期238百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は29,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,393百万円減少しました。主な変動項目としましては、現金及び預金が2,764百万円、受取手形及び売掛金が637百万円減少しており、商品及び製品が308百万円、仕掛品が411百万円増加しております。

負債合計は15,459百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,488百万円減少しました。主な変動項目としましては、前受金が1,681百万円増加しており、支払手形及び買掛金が3,060百万円、未払金が115百万円減少しております。

純資産合計は14,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ904百万円減少しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が951百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、平成26年7月14日に「平成26年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の算定方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が101百万円、繰延税金資産が1百万円増加し、利益剰余金が100百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,443	6,679
受取手形及び売掛金	6,506	5,869
電子記録債権	800	777
商品及び製品	1,931	2,239
仕掛品	1,607	2,018
原材料及び貯蔵品	1,065	1,158
繰延税金資産	8	32
その他	769	1,019
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	22,130	19,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,193	2,161
機械装置及び運搬具（純額）	1,006	978
工具、器具及び備品（純額）	440	426
土地	3,629	3,613
有形固定資産合計	7,268	7,180
無形固定資産	300	268
投資その他の資産		
その他	2,467	2,530
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	2,432	2,495
固定資産合計	10,001	9,945
資産合計	32,132	29,739

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,656	4,595
1年内償還予定の社債	310	310
1年内返済予定の長期借入金	233	233
リース債務	282	252
未払金	487	371
未払賞与	210	—
未払法人税等	105	16
前受金	1,114	2,795
賞与引当金	—	159
工事損失引当金	91	60
その他	336	590
流動負債合計	10,827	9,386
固定負債		
社債	846	796
長期借入金	3,699	3,666
退職給付に係る負債	1,230	1,282
長期未払金	16	15
リース債務	144	104
繰延税金負債	183	207
固定負債合計	6,120	6,073
負債合計	16,947	15,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,794	4,794
利益剰余金	5,904	4,953
自己株式	△1,007	△1,007
株主資本合計	14,925	13,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259	305
その他の包括利益累計額合計	259	305
純資産合計	15,184	14,279
負債純資産合計	32,132	29,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	3,110	3,275
売上原価	2,620	2,828
売上総利益	489	447
販売費及び一般管理費	1,240	1,260
営業損失(△)	△751	△813
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	31
その他	2	3
営業外収益合計	32	35
営業外費用		
支払利息	28	19
支払手数料	7	4
その他	1	0
営業外費用合計	36	24
経常損失(△)	△756	△802
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	3	5
特別損失合計	3	6
税金等調整前四半期純損失(△)	△759	△809
法人税、住民税及び事業税	8	7
法人税等調整額	△32	△20
法人税等合計	△23	△12
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△735	△796
四半期純損失(△)	△735	△796

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△735	△796
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△35	46
その他の包括利益合計	△35	46
四半期包括利益	△771	△749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△771	△749
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,426	1,430	253	3,110	—	3,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	25	2	31	△31	—
計	1,429	1,456	255	3,142	△31	3,110
セグメント損失 (△)	△371	△139	△238	△749	△1	△751

(注) 1 セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,418	1,220	636	3,275	—	3,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	79	3	83	△83	—
計	1,418	1,299	640	3,358	△83	3,275
セグメント損失 (△)	△391	△248	△172	△812	△1	△813

(注) 1 セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。